

熊本のお米①

●平成25年産 県内米情勢 ※出典：九州農政局

水稲作付面積・・・4万4,300ha

内主食用米・・・3万7,500ha

県内で最も作付されているのはヒノヒカリで、次いでコシヒカリ、森のくまさんとなっています。

旨い米が、
ここに
ある。



幅広い気候条件を活かした、
新米の「リレー出荷体制」

熊本県は西日本屈指の米処です。気候や風土に合わせて3つのエリアに分類し、各地域に適した品種を作付けしています。

7月下旬には温暖な天草地域から早期作の「コシヒカリ」を収穫。9月上旬には高冷地の阿蘇地域から普通期作の「コシヒカリ」を収穫。10月には「森のくまさん」「ヒノヒカリ」を収穫。右記のように新米を継続的に出荷できる体制を採っております。

7月	8月	9月	10月	11月
	コシヒカリ(天草)	コシヒカリ(阿蘇)		
		あきげしき(山麓高冷地域)		
			ヒノヒカリ	
			森のくまさん	
			くまさんの力	
			あきまさり	
			にこまる	

お米の販促活動

